



岩江中だより

第2号

発行日：平成27年 4月17日
発行：三春町立岩江中学校
電話：0247-62-8290
FAX：0247-62-8380
E-mail:school@iwae-jfks.ed.jp

学校経営基本方針『こころ豊かに』～「共に」語り合い、分かち合い、成長する学校～

【新入学生徒の交通事故防止！ ～平成27年度交通安全教室が実施されました。～】

4月6日（月）から、平成27年度が始まりました。同時に、新入生の交通事故防止運動が行われました。

年間スローガンは、『思いやり 人も 車も 自転車も』。運動期間中の7日間のスローガンは、『ルール無視 しん号むしは わるいむし』、運動の重点は、1 新入学（園）児童・生徒・園児の交通事故防止、2 すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用です。

おかげさまをもちまして、昨年度にしましては、子どもたちの関わる交通事故は絶無でした。しかしながら、地域の方からは、後部座席のシートベルトの未着用、駐車場以外での路上での送迎乗降というご指摘をいただいたことがありました。そこで、今回の交通事故防止運動の、岩江中学校の重点は、以下の2点について特にご配慮願います。

- 1 「全席シートベルト」の着用
- 2 送迎の際の駐車場内での乗降

4月9日（木）には、田村警察署より2名の講師の先生にお出でいただき、交通安全に関するお話をいただきました。

時速40キロメートルで走行中の車が急ブレーキで止まるまでに17メートルの距離を要することを巻き尺で実際にお示しいただきました。“車はすぐには止まらない”を実感いたしました。徒歩通学生徒もご家族に送迎いただく生徒も、1年間、無事故で過ごせますよう、通行の際には、ご配慮をどうぞよろしくお願いいたします。



【おいしい給食に舌鼓！ ～9日から給食が始まりました。～】

本校の給食のおいしさには定評があります。できたての熱々を味わうことができると同時に、調理員さんたちの“腕のよさ”が光り、毎日、幸せな気分を味わい続けることができます。

もちろん、衛生管理体制には万全を期し、アレルギー対応食も準備して、安心・安全な給食づくりを徹底しています。

新1年生は、給食の事前説明をきちんと聞いて、みんなで給食当番を分担しながら、おいしい給食の提供に一役買ってもらっています。

学校給食は、食育基本法という法律や福島県食育推進計画などに基づき行われる活動の一環で、子どもたちが豊かな人間性をはぐくみ、生きる力を身につけていくためには、「食」が重要であると説いています。食育をとおして、『食べる力』・『感謝の心』・『郷土愛』を育てることがねらいです。

心身ともに健康な生活の源となる「食育」、今後も重要な教育活動と位置づけてまいります。



【諸団体の総会に参加してきました。～田村地区中教研、田村支部中体連総会参加！～】

平成27年度のはじめにあたり、学校に関わるさまざまな団体の総会が実施されました。8日は田村地区の中学校の先生方などで組織される田村地区中学校教育研究会の、13日には部活動関係の田村支部中学校体育連盟の総会が、中教研が船引中学校、中体連は小野中学校を会場にそれぞれ開催されました。

1年間の組織や活動を確認し、子どもたちの学力向上や競技力向上に一生懸命取り組んでいこうという先生方の意気込みを感じました。



【見えないところでこそ、思いやりや自律の精神を発揮して！～スリッパは物語る。～】

ある日の男子トイレのスリッパの状況を時間差で撮影したものです。

左から右の写真へと時間が経過しています。違いは見れば分かると思います。誰かの『気づき』をそこに読み取ることができます。左の写真の一つだけ逆向きのスリッパの当人の『気づき』



』なのか、他の気づいた人の『気づき』なのかは不明ですが、

そこには、“よい方向性”が予感できます。テーマは、『次に使う人のために』、自分で直す、自分でなくとも気づいたら直す、いずれにせよ、みんなが暮らしやすい場がめざされています。

入学式で、学校は“公共の場”ですというお話をさせていただきました。昨年度から少しずつ改善されつつある“トイレのスリッパ”は、今年度もよい方向に進みつつあります。本当の『自立』にむけ、ご家庭と学校とが同じ方向性を向き、密に連携しつつ、子どもたちへ働きかけていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

【春の喜びにあふれています！ ～今年も美しい岩江を目で見ることができました。～】

「寒い、寒い。」とついこの間まで言っていたのに、今は、あたりに美しい花々が咲き誇っています。梅の白、桜の桜色、先日は雪を身にまとい着飾った桜の木、桜の花を見ることもできました。そんな美しい花々を眺めてふと考えました。「美しい岩江という郷土をいつまでも大切に守りたい。」「このすばらしい岩江の環境を子どもたちにいつまでも味わってもらいたい。」「将来、岩江をさらに大切にできる人に育てていってもらいたい。」と。

